

平成25年度 魚沼市特別活動部 活動報告

部長 本田 丈

1 研修の目標

魚沼市学校教育重点施策『「ふるさと力」を生かした学校づくり』の達成のために、子どもたちの現状を受けとめ、その課題解決のための活動に取り組む。

今年度は、昨年度に引き続き特別活動の基礎であり、当地域の課題でもある「人間関係作りを通じた社会性の育成」を目指して、各学校や学校間での実践、研究を積み重ねながら、互いに学び合う研修を推進していく。

2 研修の実際

(1) 市内中学校による「生徒会交流会」

8月1日に、市内6中学校の生徒会役員が集い「生徒会交流会」を実施した。

交流会の目的である「各区の生徒会リーダーが集まり、他校の生徒との情報交換や交流の中で、自校の活動を見つめ直し、リーダーとしての資質を向上させる。」を達成するために、活発な研修と楽しい親睦の時間を過ごした。

今年度も昨年度の反省を元に、担当者が活動内容について事前アンケートをとり、活動内容に改善と工夫を加えながら当日を迎えた。

午前中は、各校が生徒会活動の方針や特に力を入れている活動を中心に発表し、「情報交換」を行った。また、構成的グループエンカウンターミニエクササイズを取り入れた「チームビルディング活動」で親睦を深めた。

午後からの「分科会」では、第1「いじめ根絶集会等の人権活動について」第2「自校の実態に応じた生徒会活動や特色ある生徒会活動について」第3「学校行事（体育祭、合唱コンクール等）における生徒会の取組について」の3分科会に別れ、各校の具体的な取組を紹介しながら、活発な意見交流が行われた。

(2) 教育課程伝達講習会と小中別情報交換会

8月20日には、市教育振興会特別活動部員全員参加による研修会を実施した。

前半は、教育課程講習会受講者による伝達講習が行われた。資料を基に、「教え考えさせる授業」「言語活動の充実」「指導と評価の一体化」等についての説明や、具体的な実践例が紹介され、その後の質疑、協議を通し研修を深めることができた。

後半は、小出特別支援学校の実践紹介と小中別分科会を開催した。小学校分科会では、各校の学級活動や児童会に関わる実践レポートを紹介し合った。その中で、全校を動かすために、縦割り活動や委員会活動を工夫してやっているが、時間の確保が年々難しくなっていること、どのように評価基準を設定し活動をどのように見取っていくか等の悩みも紹介された。

中学校分科会では、生徒会交流会の振り返りを行う中で、交流か話し合いかどこに重点を置くか等の内容選定についての意見が出される等、次年度につながる話し合いがなされた。

4 成果や課題

- ・ 新教育課程の趣旨に直結するような実践や、それを元にした意見交換がなされた。
- ・ 「人間関係作りを通じた社会性の育成」に絞った各校での各自の実践が進められた。
- ・ レポート持ち寄りの研修は、具体的で分かりやすく参考になり、実践のアイデアが広がり質が高まった。
- ・ 限られた市教振の活動を、より有効に効率よく運営するために工夫が必要である。